



大王谷学園

新成人の皆さん、この度はおめでとうございます。

皆さんと過ごした1年間は、コロナ禍最盛期で、学級を2つに分け、交替で登校したり、最後の中体連も地区大会までしか行われなかったりするなど、様々な活動が制限されていた時期でしたね。中学校の最後の行事が次々と奪われていくのをとても辛い気持ちで見ているのを覚えています。そんな中でも、対策に気を付けながら行った大王谷オリンピックなど、限られた中でもたくさんの思い出を作りましたね。

そんな中で青春時代を過ごした皆さんは、きっと人の悲しさや辛さを分かってあげられる優しい大人に成長してくれていることと思います。人生に回り道はありません。その時は悲しかったことも、皆さんの一部となり、長い人生を必ず支えてくれます。

二十歳を迎え、大人の仲間入りをした皆さんが作っていく新しい、希望に溢れた日本に期待して、簡単ではありますが、お祝いのメッセージとします。おめでとうございます！

(元大王谷学園勤務 鹿島 雄太)

御成人おめでとうございます。2年次の修学旅行で男子6名が京都タワーで有料の撮影をし、私にくれた写真。梨穂先生が担任、私が副担任をしていた時に、学級全体で教室で撮った写真は、今でも職員室の机とクリアマットに挟めており、時折、当時のことを懐かしく思っております。また、みなさん入学時の1年1組については、今となっては私が25年担任としてきた最後のクラスでもありました。そんなみなさんたちも、御成人を迎えられ、月日の流れの早さを感じると共に、心よりお喜びを申し上げます。これからも、Where there's a will, there's a way! です。



(元大王谷学園勤務 黒木 教雄)

大王谷中学校卒の皆さん、ご成人おめでとうございます。

卒業してからもう5年が経つんですね。はやいものです。皆さんは、私が教員に採用されて初めての教え子たちでした。様々な行事を通して、たくさん笑い、たくさん叱ったこともありましたね。また、コロナ禍での学校生活は、今までの当たり前がどんなに恵まれたものだったのか身に染みて感じた代だったと思います。謙虚さをもって、人に感謝し、自分を大切にしてください。活躍をこれからもお祈りいたします。

菅（黒木） 梨穂



成人のみなさん

おめでとうございます。

『自分の花を咲かせよう。～自分らしさを忘れないで～』

どんな花にも必ず根っこがあります。根っこがあるからこそきれいな花や美しい花、色鮮やかに咲くことができます。どうしても目に見える花だけが目立ってしまいがちですが、本当は根っこが大切なのです。太く、長く、丈夫な根を張ることによってどんな花が咲くのか決まります。花が咲かないときは、根っこが伸びているとき。

成人のみなさん、おめでとうございます。

これからも、さらにたくさんの経験や体験、仲間とふれあう時間を大切に、根っこを育て自分という個性（花）を咲かせてください。

今後のすばらしい人生を応援しています。

丸山 久志

